

## c) 散水

散水は、一度にたっぷりと回数は少なくすることが基本です。また、整備直後の活着していない芝生は多くの水を必要とします。

また、芝生の葉について肥料を洗い流すために、散水を行うこともあります。

### 散水のポイント

- 多量少回数を基本に

少ない量を頻繁にまく（少量多回数）のではなく、1回の散水をたっぷり（芝生の下が濡れて色が変わるまで）行い回数を減らします（多量少回数）。

- 過散水に注意

芝生の下が常に濡れている状態では、芝生が窒息してしまいます。土が乾いた状態も必要なので、水のまき過ぎは避けましょう。

- 乾燥の兆候に注意

ティフトン 419 の場合は葉の色は白っぽく、ライグラスの場合は黒っぽくなったり、葉が巻いている場合は乾燥を疑い、すぐに芝生の下を調べます。

- 散水の時間は計画的に

散水直後の土が濡れた状態で人が乗ることは避けましょう。夏季には散水後 30 分もすれば水は抜けますが、冬季には 2 時間以上残ることも珍しくありません。乾かす時間を逆算し、散水するようにします。芝生に乗る予定のない時は、朝に散水を行います。

- 行事等の後はその日のうちに

芝生を激しく使った後には散水を行うことで回復力が高まります。運動会等の行事の後は、その日のうちに散水を行いましょう。

- プールの水も利用できます

プールで使用した水を芝生の散水に利用できます。



プールの水を散水

## ◆ 散水の目安

芝生の下の土（床土）を手で握り、団子状態になる場合は散水の必要はありませんが、崩れてしまう時には散水を行います。

- 土を手で握ります。



- 手を開き、団子状に固まる場合はまだ散水する必要はありません。



- 手を開くと、ばらばらに崩れてしまう場合はすぐに散水する必要があります。



## d) 養生

芝生の利用を休止し、生育や回復を促すことを養生といいます。休止しないで、エリアを分け交代で使う、外遊びの時間を短くするなどして芝生の上に人が乗る時間を短くすることでも効果があります。

養生中は、芝生の上で遊んだり授業をしたりすることは避けてください。ただし、芝生に入ったボールを拾いに行くなど、立入る事は問題ありません。

養生時は芝生をカラーコーンやロープで囲う以外にも、景観に合わせて、花が植わったプランターで囲うなどの方法もあります。



プランターで囲んで養生

### 養生のポイント

- 定期的に計画する養生

芝生の休眠期（12～2月）、萌芽期（3～4月）や、定期的な更新作業、補修工事などに合わせて養生を計画します。全面芝の場合は、その間、子ども達が遊ぶ場所（近隣の公園など）を確保できればより良いでしょう。

- 臨時的に行う養生

過剰な利用による擦り切れ、異常気象等による生育不良、病虫害の発生により、予定していなかった養生を行う必要があることは珍しくありません。そのような事態を予め想定し、芝生が使えない場合の対策を事前に決めておきましょう。

- 部分的な養生

出入り口など通行が集中して部分的に傷んでいる場合は、プランターなどをおいて動線を変えるだけで一定の効果があります。

- 保温シートの利用

低温期の養生では芝生用保温シートを使用し、地温を上げたり乾燥を防止し、芝生の回復を促進することがあります。保温シートの材質や性能により注意点が異なるので、シートの購入時に正しい使い方を確認する必要があります。



保温シートによる養生



## e) 補修

傷みがひどく、芝草の密度が低下し、自力回復する見込みがなくなった場合は、補修を行います。芝生の専門家とよく相談して、計画的に行うことが大切です。

### ◆ 補修方法の目安

レベル	状況	説明と対策
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土が見えているが、根やほふく茎が残っている</li> <li>●ところどころに葉も出ている</li> <li>●<u>養生による補修（生育期に2～3週間程度）</u></li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>●土が大きく見えており、根やほふく茎があっても数が少ない</li> <li>●大きさは最大でも50cm四方程度</li> <li>●帯状の場合は幅が50cm以内</li> <li>●<u>養生による補修（生育期に1か月程度）</u></li> </ul>
3		<ul style="list-style-type: none"> <li>●レベル2の部分の面積が大きく50cm四方を超えている</li> <li>●<u>芝生の苗を植えて補修（生育期に苗植え後3か月以上は養生が必要）</u></li> </ul>

## ◆ 養生による補修

部分的な養生を行うと同時に、施肥と芝刈りにより回復させる方法です。

### 養生による補修の手順

- エリアの明示  
ロープやコーン等で補修エリアを囲い、立ち入り制限であることがわかるようにします。
- 施肥  
補修エリアには、月に2～3回、少量の施肥を行います。
- 芝刈り  
葉が出てきたり、周りからほふく茎が伸びてきたら、通常エリアの倍の頻度で芝刈りを行い、成長ホルモンの分泌を促します。
- 散水  
通常の散水と同じでかまいませんが、多めに散水を行うと回復が早くなる効果があります。
- 砂の散布  
補修したい場所に砂を散布して保護をすると効果的です。散布するのは細かい砂が適しています。



ロープやコーンを使って養生中のエリアを明示します。

## ◆ 苗による補修

ティフトン 419 のほぐく茎を裸地になったところへ植付ける方法です。  
ノシバ・コウライシバの芝生をティフトン 419 で補修しても問題ありません。

### 苗による補修の手順

- 苗の準備

ティフトン 419 の芝生をほぐしてバラバラにします。またほぐし苗を通信販売等で購入することができます。



ほぐし苗

- 苗の管理

植え付けるまで乾燥しないよう注意します。

- 苗の植付け

植え付ける前にほぐし苗をバケツの水等に浸け湿らせます。  
植え付ける場所に、鎌やスコップ等で切れ込みを入れ、そこにほぐした苗を挿し込みます。  
そのあと、よく踏んで土と苗の間に隙間がないようにします。



地面に切れ込みを入れる

- 植え付け後の管理

養生による補修と同じように、エリアを区切った上で、施肥、芝刈り等を行います。

[養生による補修：P. 22]



切れ込みにほぐし苗を挿し込みます



## f) 病虫害と雑草

### ◆ 病虫害

これまでに横浜市内でティフトン 419 の深刻な病虫害の発生事例はありません。病虫害の最も有効な予防方法は、強い芝を作る事です。強い芝生を作る事で、病気の発症を抑えることができ、また虫による食害も軽度に抑えることができます。

芝刈り、施肥、散水によって健康で強い芝生を作りましょう。

病虫害の発生が疑われる時は、本当に虫や病気による被害なのか、専門家に診てもらい、やむを得ない場合だけ用法・用量を守って、農薬（殺虫剤・殺菌剤）を使用します。

### ◆ 雑草

雑草が出てきても、全て取り除く必要はありません。元の土に種子が含まれていたり、他所から種子が飛来したりして、芝生には必ず雑草が発生します。特に芝刈りをしていない芝生では、雑草の草丈が高いのでより目立ちます。

たいていの雑草は、刈り込まれると回復できずに枯死する一方で、芝生は刈り込むことで、横に広がって密度を増し強くなっていきます。強い芝生となっていれば、雑草は発芽しても大きくなる事が出来ません。さらに、芝生の密度が高くなると、雑草の種子自体が侵入できなくなります。

芝刈り、施肥、散水を十分に行い、強い芝生を作る事で、雑草を抑制しましょう。



雑草が繁茂していましたが



芝刈りと施肥により芝生の密度を高める事で目立たなくなりました

## g) 更新作業

芝生を造成してから何年か経つと、床土が固く締まり透水性（通気性）が悪くなり、芝生の根の生育が衰えることがあります。このようになった芝生の土を物理的にほぐし、芝生自体の活性を高める作業が更新作業です。

更新作業には、砂を播いたり（目土）、切れ込みを入れたり（スライシング、バーチカルカッティング）、穴を空けたり（コアリング）等の様々な種類があり、それぞれ専用の機械を用います。また、複数の作業や補修と組み合わせることもあります。

これらの作業は、芝生の生育にとって一時的に大きなストレスとなります。芝生の状態をよく把握した上で、芝生専門家の指導に基づき計画し、専門的な作業を行える管理業者に依頼して行います。



コアリング作業と芝面



土壌の固結により芝生の生育が不良になっていました（左）が、  
専門家による1回のアドバイスで更新作業を行い生育がかなり回復しました（右）。